

---

# 日本放送協会 理事会議事録

(2021年 7月6日開催分)

2021年 7月23日(金)公表

---

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

2021年 7月6日(火) 午前10時30分～10時40分

<出席者>

前田会長、正籬副会長、松坂専務理事、板野専務理事、  
角専務理事、若泉理事、松崎理事、小池理事、田中理事、  
林理事、児玉理事・技師長、伊藤理事  
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

前田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

- (1) 2020年度(令和2年度)インターネット活用業務実施計画の実施状況とその評価について

## 2 報告事項

- (1) 技研公開2021実施結果について
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

## 3 審議事項

## (2) 第1381回経営委員会付議事項について

### 議事経過

#### 1 審議事項

(1) 2020年度（令和2年度）インターネット活用業務実施計画の実施状況とその評価について

（経営企画局）

NHKインターネット活用業務実施基準（以下、「実施基準」）第8条第1項および第3項の規定に基づく2020年度（令和2年度）インターネット活用業務実施計画（以下、「2020年度実施計画」）の実施状況とその評価の案について、審議をお願いします。決定いただきましたら、すみやかに公表いたします（注1）。

前半は実施状況、後半はその評価です。

まず、実施状況のうち、「概況」についてです。

NHKは、放送法第15条に掲げられた目的を達成するため、放送法、実施基準、2020年度実施計画等に基づき、2020年度のインターネット活用業務を実施しました。インターネット活用業務総体として、「NHK経営計画（2018－2020年度）」に掲げた6つの「公共的価値」（注2）の実現を追求するとともに、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていくために、放送番組とその理解増進情報の提供を行いました。

インターネット活用業務の実施にあたっては、2020年度実施計画の冒頭に示したインターネット活用業務基本方針に則り、同実施計画の各項目の記載内容に沿って業務を実施しました。また、委員会の2019年度答申第3号に示された見解に留意して業務を行いました。

なお、実施基準については、2021年度以降の業務の実施態様を勘案し、費用に関する規定の見直し等の変更について、2021年1月、総務大臣の認可を得ました。当該変更の施行日は2021年4月1日です。

実施状況には、「概況」のほか、「インターネット活用業務の種類」、「2号受信料財源業務について」、「2号有料業務について」、「放送法上の努力義務に係る取り組みについて」、「3号受信料財源業務につ

いて」、「3号有料業務について」、「インターネット活用業務の実施に要した費用について」、「インターネット活用業務の経理について」、「インターネット活用業務審査・評価委員会について」、「インターネット活用業務に関する意見・苦情等への対応について」、「サービスの利用状況について」、「競争評価指標の観測状況について」を記述し、別表として「2号受信料財源業務の各サービスの利用状況（2020年度）」を記載しています。

次に、実施状況の評価のうち、「評価の目的」についてです。

2020年度（令和2年度）インターネット活用業務実施計画の実施状況の評価は、実施基準第8条第1項に基づき、2020年度のインターネット活用業務が実施基準および2020年度実施計画に則り適切に実施されたことを確認することによってNHKのインターネット活用業務の透明性の確保に資すること、および、当該業務の改善に資することを目的として行います。

続いて、「2020年度実施計画の実施状況の評価」についてです。

NHKは、放送法第15条に掲げられた目的を達成するため、放送法、実施基準、2020年度実施計画等に基づき、2020年度のインターネット活用業務を実施しました。経営計画（2018－2020年度）に掲げた6つの「公共的価値」の実現を追求するとともに、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たしていくために、放送番組とその理解増進情報の提供を行いました。年間を通じて実施基準および2020年度実施計画からの逸脱はなく、それらに則って適切にインターネット活用業務を実施しました。

実施したサービスの公共性と市場競争への影響、実施に要した費用、区分経理の適正を確保するための手続き、受信料制度の趣旨との整合性、利用者からの意見・苦情等の内容、手続きの適切性の観点ごとに評価を行い、2020年度実施計画の実施状況は妥当であったと考えられるとまとめています。

最後に、「インターネット活用業務審査・評価委員会の見解等」についてです。この2020年度実施計画の実施状況とその評価については、委員会に諮問して、インターネット活用業務の公共性および市場競争への影響等、公共放送の業務としての適切性を確保する観点からの見解を求めました。委員会からは、2021年度答申第1号として、「202

0年度(令和2年度)インターネット活用業務実施計画の実施状況に係る協会の評価は、妥当であると考え」旨の答申を得ました。また、2022年度(令和4年度)インターネット活用業務実施計画の策定にあたっての留意事項として、「公共的価値と市場影響の総合衡量を可能にするために、実施する各サービスがどのような価値の実現に寄与するのかについて、適切に整理すること」、「若年層を含めた幅広い視聴者・国民との関係を強固にする試みを継続すること」、「人々の命と暮らしを守る正確な情報の発信、多様性を尊重する共生社会の実現等、公共的価値の最大化に努めること」、「市場競争への影響の評価について不断に検討を深めること」、「NHKプラスについて、受信料制度との整合性は保ちながら利便性の向上に努め、利用者から要望が寄せられているテレビ向けなど新たなサービスについても検討を行うこと」等が示されました。

2021年度においても、NHKはインターネットも積極的に活用して、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たせるよう、放送法、実施基準等に則り、インターネット活用業務を適切に実施していきます。また、委員会の2021年度答申第1号に示された見解を踏まえて、2022年度の実施計画を策定し、インターネット活用業務のさらなる改善に取り組みます。

本件が決定されれば、本日開催の第1381回経営委員会に報告します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定し、本日開催の第1381回経営委員会に報告します。

注1：「2020年度(令和2年度)インターネット活用業務実施計画の実施状況とその評価」は、NHKのウェブサイト「NHKオンライン」の「NHKのインターネット活用業務について」に掲載しています。

注2：「正確、公平・公正な情報で貢献」、「安全で安心な暮らしに貢献」、「質の高い文化の創造」、「地域社会への貢献」、「日本と国際社会の理解促進」、「教育と福祉への貢献」

## 2 報告事項

## (1) 技研公開 2021 実施結果について

### (放送技術研究所)

2021年度の放送技術研究所（技研）公開の実施結果について、報告します。

今年の技研公開は、新型コロナウイルス感染防止に配慮し、6月1日から30日までの1ヶ月間、技研ホームページ上で初めてオンラインで開催しました。期間中の訪問者数（ユニークアクセス）は約4.4万、サイト内の閲覧回数合計（ページビュー）は24万を超え、首都圏以外の地域や海外からも含め、多くの皆様に、技研の最新の研究成果をご覧いただきました。

今年は「究める技術、高まる体感」をテーマに、よりリアルで没入感あふれる視聴体験を実現する技術など、17件の研究項目を展示したほか、研究者が分かりやすく解説する動画を多数掲載しました。また、技術を体感する様子を撮影した動画や、番組作りを体験できるウェブページも掲載しました。

基調講演では、10－20年後のメディア環境と研究の方向性を、「Future Vision 2030－2040」として三谷前所長が紹介しました。また、EBU技術委員長でBBC R&DのJudy Parnall氏に、欧州における放送メディアの技術戦略を紹介いただきました。

若手研究者による研究発表「ラボトーク」では、オンライン聴講者に高校生を想定し、デモンストレーションを交え、研究を紹介しました。

特別プログラムでは、メディアアートの第一人者である慶應義塾大学の脇田玲教授を招き、心を動かすメディア表現の可能性や課題について、放送文化研究所（文研）と技研の研究員を交えて対談しました。また、文研と技研の所長対談では、文理融合研究など、これからの放送メディアの進歩発展に向けた調査・研究の取り組みを展望しました。

オンライン展示をご覧いただいた方からは、「Future Visionをはじめ、未来のテレビ技術が楽しみ」、「長年行ってみたかった技研公開に触れられてうれしかった。次回はぜひ現場で生の体験をしたい」などの感想をいただきました。

来年度にむけて、オンラインによるメリットも取り入れて、効果的な公開実施方法を検討してまいります。

(会 長) 技研で研究、開発している最新技術等について、技研だけの公開では場所が限定的になるため、番組を通じて発信し、より多くの人々が理解できるよう取り組んでほしいと思います。

(2) 放送番組審議会議事録 (資料)

(編成局・国際放送局)

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、四国）の2021年5月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのウェブサイト「NHKオンライン」の「経営に関する情報」に掲載しています。

3 審議事項

(2) 第1381回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

本日開催の第1381回経営委員会の付議事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として、「2020年度（令和2年度）インターネット活用業務実施計画の実施状況とその評価について」です。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

2021年 7月19日

会 長 前 田 晃 伸